

鹿児島工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	情報工学特論Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0076	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	情報工学科	対象学年	5	
開設期	後期	週時間数	後期:2	
教科書/教材	資料等を必要に応じてその都度提示する			
担当教員	武田 和大			

到達目標

Java言語を学習することでオブジェクト指向プログラミングを学び、オブジェクト指向に基づくソフトウェア開発ができるようになることを目指す。

ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
Java言語の特徴	Java言語の特徴を他言語と比較しながら説明できる	Java言語の特徴をオブジェクト指向やクラス、インスタンス、メソッドを踏まえて説明できる	Java言語の特徴や、クラス、インスタンス、メソッドについて説明できない
入出力	入／出力ストリームを使ったプログラムを自ら考えて記述できる	Javaにおける入出力について説明できる	Javaにおける入出力について説明できない
継承	継承、インターフェースを用いたプログラムを自ら考えて記述できる	継承、インターフェースについて説明できる	継承、インターフェースについて説明できない
プログラミング	与えられた問題を解決するプログラムを、自ら考えて正しくJavaで記述できる	与えられた問題に対し、他人の力を借りながらJavaプログラムを正しく記述できる	与えられたプログラムを正しく記述できる

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本科目は、これまでの情報処理科目で学んだプログラミング言語に関する知識と技術を習得しているものとして、より実践的な知識の修得を目指とする。
授業の進め方・方法	座学と演習、課題を組み合わせて進める。教科書は指定しないが、各自が参考書となる書籍等を用意して学習すること。授業中はJavaの知識やオブジェクト指向の考え方、Cなどに見られないJavaの特徴的な内容を中心に説明する。自宅等での学習で理解可能なことは授業中は原則扱わないので自学自習は必須である。
注意点	少なくともC言語の文法を理解し、C言語でプログラムを記述することができる事が前提で講義を進める。C言語の学修で学んだ内容は解説しない。演習等の課題を含む復習として60分以上の自学自習が必要である

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Java言語の特徴とオブジェクト指向
		2週	Java言語の基礎
		3週	Java言語の基礎
		4週	Java言語の基礎
		5週	Java言語の基礎
		6週	Java言語の基礎
		7週	Java言語の基礎
		8週	Java言語の基礎
	4thQ	9週	Java言語の基礎
		10週	Java言語の基礎
		11週	Java言語の基礎
		12週	Java言語の基礎
		13週	Java言語の基礎
		14週	Java言語の基礎
		15週	試験答案の返却・解説
		16週	

評価割合

	試験・課題	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	0	0
専門的能力	100	100
分野横断的能力	0	0